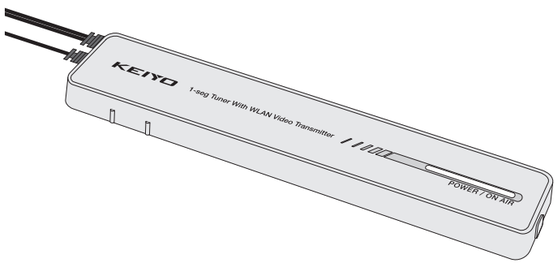
KEIYO

取付説明書

iPhone用 ワイヤレスLANチューナー
AN-T011



安全上のご注意

- 安全のため、取り付け・結線作業の前に以下のご注意と、この「取付説明書」をよくお読みのうえ、正しく作業してください。
- お読みになった後はいつでも見られる所（グローブボックスなど）に必ず保管してください。

絵表示について

この取付説明書の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警 告	⚠ 注 意
この絵表示の記載事項を守らないと、人が死亡または重傷を負う恐れがあります。	この絵表示の記載事項を守らないと、人が傷害を負ったり、物的損害が発生する恐れがあります。

絵表示の例

⚠	この記号は、注意（警告を含む）をしなければならない内容です。
⃠	この記号は、禁止（やってはいけないこと）する内容です。
❗	この記号は、必ず行っていただきたい内容です。

作業をはじめる前に

⚠ 警 告

- **本製品を取り付ける車のバッテリー電圧を確認する…**
  本製品はDC12 V車載用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24 V車で使用しないでください。火災や故障などの原因となります。
- **配線作業中は、バッテリーのマイナス側コードを外す…**
  ショート事故による感電や、ケガの原因となります。

取り付け場所について

⚠ 警 告

- **エアバッグ装着車に取り付ける場合は、システムの作動に影響する位置には絶対に取り付けない…**
  エアバッグが正常に作動しないと万一のとき、事故やケガの原因となります。
- **本製品を次のような場所に取り付けない…**
  前方の視界を妨げる場所/シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所/同乗者に危険を及ぼす場所/エアバッグシステムの作動に影響する場所に取り付けると運転操作を妨げたり、はずれたりして、ケガや交通事故の原因となります。

⚠ 注 意

- **雨が吹き込むところなど水のかかるところや、湿気・ほこりの多いところへは取り付けない…**
  本製品に水や湿気、ほこりが混入すると、発火や発煙の原因となることがあります。
- **振動の多いところなど、しっかりと固定できないところには取り付けない…**
  はずれて、ケガや事故の原因となることがあります。
- **直射日光やヒーターの熱風が直接当たるところ、また本製品を通風穴や放熱部をふさぐ場所に取り付けない…**
  本製品内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

取り付けの注意

⚠ 注 意

- **必ず付属の部品を指定通り使用する…**
  指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずにはずれたりして、事故や故障の原因となることがあります。

結線の注意

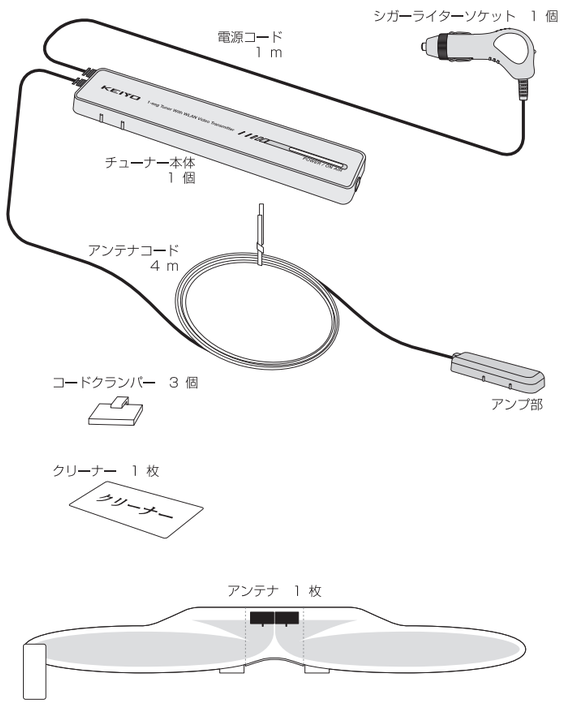
⚠ 警 告

- **コード類は、取り付け説明の指示に従い、運転操作の妨げとならないようまとめておく…**
  ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故の原因となります。
- **接続コード類の配線は高熱部を避けて行う…**
  コード類の被覆が溶けてショートし、事故や火災の原因となります。
- **エアバッグシステム装着車に接続コード類の配線をする場合は、システムの作動に影響する場所に配線しない…**
  エアバッグが正常に作動しないと万一のとき、事故やけがの原因となります。

⚠ 注 意

- **正規の接続をする…**
  誤った接続をすると、火災や事故の原因となることがあります。
- **コード類の結線終了後は、コード類をコードクランパーや絶縁テープで固定する…**
  コード類が車体部分との接触によりすり切れてショートし、事故や火災の原因となることがあります。
- **車体やネジ部分、シートレールなどの可動部に配線をはさみこまない…**
  断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。

構成部品



アンテナ貼り付けについて

1. 貼り付け上のご注意

- 保安基準※に適合させるため、本書をよくお読みになり正しく取り付けてください。
  ※ この保安基準は、道路運送車両の保安基準第29条第４項第６号に対する、平成15年９月26日付けの運輸省（現、国土交通省）令第95号に基づきます。（2012年３月現在）
- 車室内に貼り付けるアンテナはエアコン用モーターなどから出るノイズにより、テレビの映りが悪くなることがありますが故障ではありません。
- 車種によっては貼り付けられない場所があります。その場合は販売店にご相談してください。
- 熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不適合ガラスなど電波を通さないガラスを使用した車種の場合には受信感度が極端に低下します。その場合はお買い上げの販売店に確認してください。
- アンテナの保護フィルムやアンプのはくり紙をはがした後は、給電端子などに手を触れないでください。
  静電気による故障や汗などの汚れで接触不良の原因となります。
- ピラーにフロントエアバッグを搭載している車両には貼り付けることができません。
- フロントウインドウの指定された位置・寸法内に貼り付けてください。
- アンテナを折り曲げないように、注意して取り扱ってください。
- 作業場所は風が無く、空気中にゴミ、ホコリなどが無い場所を選んでください。
- 気温が低い時に作業を行う時は、接着力の低下を防ぐため車内にヒーターやデフロスタースイッチをONにしてフロントウインドウを暖めてから作業を行ってください。
- 一度貼り付けてからはがすと貼り直しできませんので、必ずコードおよびアンテナを仮止めしコードの引き回しなどを十分に確認してから貼り付けてください。

次のような場所では映りにくいことがあります

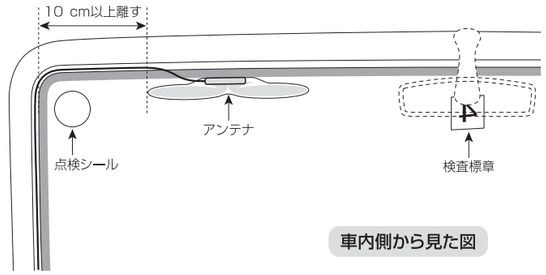
- ビルとビルの間。
- 送電線が近くにある場所。
- 放送局から遠い場所。
- 山かげや木立のかげになる場所。
- 上空を飛行機が通過または、電車が近くを通過している場所。
- 自動車、バイク、高圧線、ネオンサインなどが近くにある場所。
- ラジオ放送、アマチュア無線局の送信アンテナが近くにある場所。

アンテナ貼り付けについて

2. アンテナ貼り付け位置

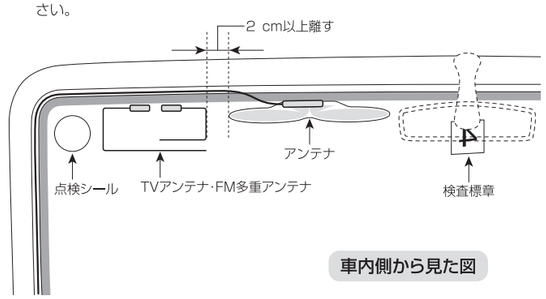
■TVアンテナ・FM多重アンテナなどがない場合

- ウインドウの左すみから10 cm以上はなれた場所にアンテナを合わせて貼り付けてください。



■TVアンテナ・FM多重アンテナなどがある場合

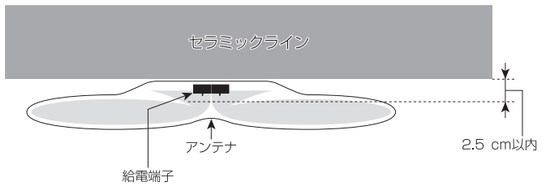
- 他のアンテナから２ cm以上はなれた場所にアンテナを合わせて貼り付けてください。
- TVアンテナ・FM多重アンテナが貼ってある場合は下図の様に貼り付けてください。



アンテナ貼り付けについて

3. 貼り付け許容範囲について

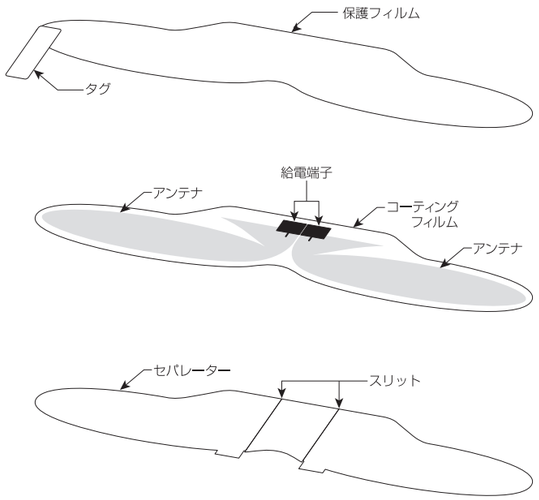
- 給電端子はセラミックライン下端から2.5 cm以内（貼り付け許容範囲）に貼り付けてください。
- 貼り付け許容範囲外に貼り付けると車検のとき、不適合となります。
- ※ セラミックライン〔フロントウインドウ端の黒い部分、及び黒いドット（点々のこと）部分〕の上には、貼り付けないでください。



アンテナ貼り付け

4. アンテナの構成

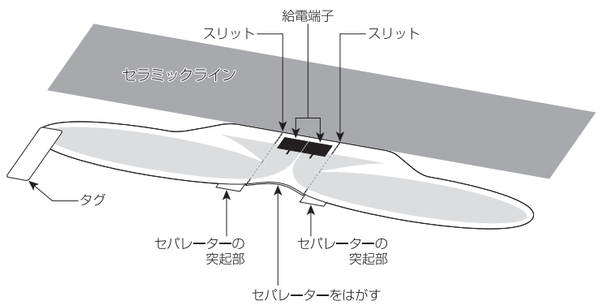
- アンテナは３層に分かれています。
- アンテナは保護フィルムとセパレーターの間に挟まれています。



アンテナ貼り付け

5. アンテナ貼り付け手順

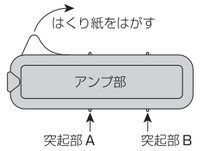
- アンテナの上端をセラミックラインの下端とが合う位置に、アンテナの貼り付ける位置を決めます。
- セパレーターは３つに分かれていますので、真ん中のセパレーターからはがしてフロントウインドウに貼り付けます。
  ※ 貼り付けの際は、アンテナの給電端子が貼り付け許容範囲からはみ出さない様に位置を決めてください。
- 両側のセパレーターは、突起部を持って順次はがします。
- セパレーターをはがし終えたら、給電端子部とアンテナ部がフロントウインドウに充分に貼り付くように、保護フィルムの上から樹脂ヘラなどで丁寧にしごいて、ガラス面に貼り付けてください。（加圧が不足すると保護フィルムをはがす際に、アンテナ部がはがれたり、断線する恐れがあります。）
- 保護フィルムに付いているタグを持って、アンテナがウインドウ面に貼り付いていることを確認しながら、ゆっくりと丁寧に保護フィルムをはがしていきます。
  ※ アンテナが保護フィルムと一緒にはがれた場合は、保護フィルムを元に戻して再度アンテナの上から柔らかい布、樹脂ヘラなどで丁寧にしごいてください。

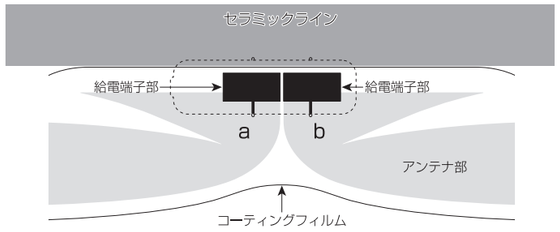


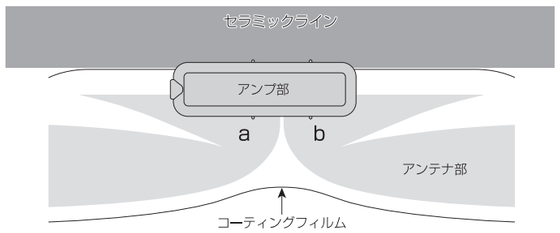
アンテナ貼り付け

6. アンプを貼り付ける

- アンプ部の裏面にある、はくり紙をはがします。
- アンプ部にある２つの突起部Ａ・Ｂと給電端子部の突起ａ・ｂの先端が重なるようにアンプ部を貼り付けます。







チューナー本体の取り付け

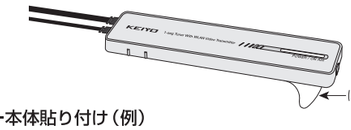
1. 貼り付け上のご注意

- チューナー本体を貼り付ける場所の汚れをきれいにふき取ってからチューナー本体を貼り付けてください。
- チューナー本体の裏面にある、はくり紙をはがします。
- 車内の平らな面で、運転の妨げにならない場所などに貼り付けます。

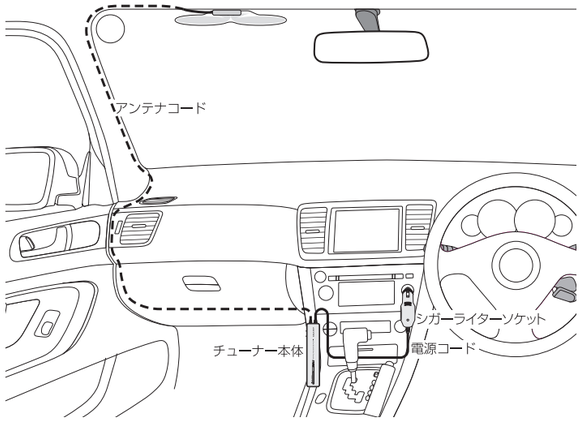
※ エアバッグシステムの作動に影響する場所に、チューナー本体を貼り付けないでください。
エアバッグが正常に作動しないで、事故やケガの原因となります。

※ ウインドウ（フロントガラスを含む）および、直射日光やヒーターの熱風が直接当たるところ、また本製品を通風穴や放熱部をふさぐ場所には貼り付けないでください。本製品内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

※ 必ず車内の貼り付け場所にいったん本体を仮止めして、お使いのラジオやテレビにノイズなどが入らないか確認してください。ノイズが入る場合は本体の位置を調節してください。



■チューナー本体貼り付け（例）



保証書

保証規定

1．取扱説明書の注意書に基づくお客様の正常なご使用状態のもとで保証期間内に万一故障した場合、無料にて故障箇所の修理をさせていただきますので、お買い上げ販売店、または当社が指定するサービス窓口に本保証書を添えてお申し出ください。

2．本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については当社はその責任を負わないものとします。

3．海外で使用された場合、あるいは不当な改造については当社は一切の責任を負わないものとします。

4．修理品のご持参、お持ち帰りの交通費、または送付される場合の送料及び諸掛りはお客様のご負担となります。なお、ご送付の場合は適切な梱包の上、紛失防止のため受け渡しの確認できる手段（簡易書留や宅配など）をご利用ください。

5．次のような場合には、保証期間中でも有料修理になります。
（１） 本保証書のご提示がない場合。
（２） 本保証書に保証期間、品名、販売店名、お買い上げ日の記入のない場合、または字句を書き替えられた場合。
（３） お客様による輸送、移動時の落下、衝撃等、お客様の取り扱いが適正でないために生じた故障、損害の場合。
（４） お客様による使用上の誤り、あるいは修理による故障および損傷。
（５） 火災、塩害、ガス害、地震、落雷、および風水害、その他天災地変、事故、あるいは異常電圧などの外部要因に起因する故障および損傷。
（６） 本製品に接続している当社指定以外の機器および消耗品に起因する故障および損傷。
（７） 正常なご使用方法でも消耗部品が自然消耗、摩耗、劣化した場合。

6．ご不明の点は、お買い上げ販売店にご相談ください。

7．この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせ下さい。

8．本保証書は日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan.）

お問い合わせ先

KEIYO 製造元
株式会社 慶洋エンジニアリング
〒105-0004 東京都港区新橋6-13-1 第３長谷川ビル
TEL：03-3431-8194（サービス）
受付時間 月曜日～金曜日（平日のみ）
10：00～12：00　13：00～16：00